

## 第5回 鶴沼市民センター建替えに向けた意見交換会 議事録(要約)

日時:2025年11月13日(木)19:00~21:00

場所:鶴沼市民センター 第3談話室

参加者数:12名

### 【概要説明】

これまでの経過説明と現在進めている基本設計について 山口市民センター長から説明

### 【ご意見・ご意見】

(意見・質問(1人目))

新しい市民センターにスーパー銭湯や食堂を設置してほしい。また、体育室には球技のコート2面分、3面分くらいの広さの確保ができるか。子どもたちがバレーボールやバスケットボールをやれるところが無い。また、なぎさ荘というのは今あるところから持ってくるのか。

(回答 鶴沼市民センター)

藤沢市には、市所有の公共施設を建替えていくための再整備プランがある。昭和40年代から60年ぐらいまでの間に、高度経済成長と市の人口増加に合わせ、多くの公共施設を建てた。それらが建て替えの時期を迎えており、ただ当時のそのままの施設のボリュームを将来的に維持していくコストなどを踏まえると、公共施設の建て替え時はできるだけ機能を集約してコストを減らしていくということが市の考え方である。

(意見・質問(1人目))

カフェの設置について、専門の店舗などが入るのか。

(回答 鶴沼市民センター)

まだ検討中で、クリアしなくてはいけない課題があるが、立地などを考えて鶴沼海岸商店街に運営し

てもらえたなら、ということで協議をしている。

(意見・質問(1人目))

そもそもセンター敷地内に駐車場は必要なのか、周辺の道は狭く、業者の車など必要なケースを除いては、無駄に車を呼び込む必要はないと考える。

(回答 鵠沼市民センター)

立地的に駅も近く、車での来所は無いに越したことはない。ただ、公共施設として必要な駐車スペースの確保をすること、また開発行為に該当するため、条例の中で確保すべき台数というのが決まっていることでもある。基本的にはセンター利用者が使用する駐車場は用意をするということになる。

(意見・質問(1人目))

駐輪場については、建て替えとはせず、改修ということか。

(回答 鵠沼市民センター)

その予定である。機能的に構造体がしっかりとすれば、リニューアルにより十分に維持していく。この市民センターは、もともと公民館単体の建物として作られたが、市民センターという機能に加え、津波が起きた時に周辺の方々を収容できるスペースを十分に確保するなど、いろいろな機能不足が出てきた。このため、どうしても建て替えが必要だと判断したもの。駐輪場に関しては、改修で十分に機能を維持できるということになる。

(意見・質問(1人目))

改修でも良いが綺麗でオシャレであれば、幸せな気分になるのではないだろうか。ボロボロでは良くない。

(回答 鵠沼市民センター)

綺麗にするだけが目的ではないが、現状の屋根、壁などの劣化具合を調査した中で、また、エリア一帯の整備になるため、全体の景観といったことを、新しい市民センターと合わせて整備していく。

(意見・質問(1人目))

資料の図面上、(南側道路を挟んだ)右の、赤く表示されている箇所については(建物の建設などが)予定されているのか。

(回答 鶴沼市民センター)

建て替えをするこのエリアについては、工事に必要なスペース少ないため、駐車場がなくなる時期に仮設駐車場、駐輪場を改修するときに仮設駐輪場といった代替の場所として赤で示した土地を使わなくてはならない。今のところ、その先の使い道には決まっておらず検討中となる。

(意見・質問(2人目))

私は市民センター建て替えに基本的に反対である。そもそも実施する法的な意味はない。なぎさ荘は高齢者福祉センターで、国が作るよう決めている。公民館も同様に国の法律で決まっている。一方、市民センターに関しては法律上無い。

7月に津波警報の発令があった。なぎさ荘は鶴沼海岸6丁目にある。そこには高齢者と障がい者などを含め、私が数えたところ避難者は150人、なぎさ荘の発表では200人であった。なぎさ荘には看護師が常駐しており、避難した方々は今回無事に切り抜けたが、なぎさ荘がつぶされて、新しい市民センターに集約となると、現状のなぎさ荘の建物には看護師の常駐はなくなる。

なぎさ荘の説明会は3月に1回目があり、今回2回目だった。今回も、なぎさ荘を今後どうするのか聞くとゼロ回答であった。9ヶ月も経って、市にプランが無いなら、今後も(回答がなされるのか)あてにならない。このまま、現なぎさ荘の箇所に避難の拠点がなくなれば、高齢者を中心にみんな確実に死んでしまう。ここ最近は、夏がとても暑く冬はとても寒い。エアコンのないところに避難しても皆死んでしまう。そういう問題を共有する機会はないと思うので、皆で理解していただきたい。これをそのまま鵜呑みしてはいけない。

また、最近、避難訓練があった。鶴沼海岸5丁目、7丁目のところ避難先は、チラシを見るとスズキヤと記載されている。5丁目からスズキヤに10分で逃げるのは絶対無理である。私は実際にやってみた。当日9時34分に出発したが避難すると市の人以外誰もおらず、10分で到達したのは自身だけだった。なぎさ荘にも行ったが、避難した人はほとんどいなかった。なぎさ荘に避難することはチラシに書いてなかつたから。非常に問題だと考える。

建替えをどうしても実施したのならば、私の提案だが、なぎさ荘の移転をやめて、そこをすべて体育館にしたら良い。天井高12mを超えるだろう。バトミントンなどは12mの天井高が必要であるのに、新しいセンターの体育室は天井高7mということで、何もできず、しかも鉄筋コンクリート造のためコストが嵩

む。単独の体育館なら安くできる。片瀬に完成した津波避難タワーは、あれだけ大きいにもかかわらず5億円と少しだった。新しいセンターの建設費が47億だが、3分の1くらい削って、普通の鉄骨造にし、全体構想を20数億円までに圧縮した方がよほど賢い。これによりなぎさ荘のメンテナンスコストを充分出せる。複合化といってもコストの圧縮ができないのならば、本末転倒だと考える。したがって、提案としては、体育館というのは1棟にして、なぎさ荘の移転を止め、体育館を使いやすいようにしてほしいということである。

(回答 鵠沼市民センター)

ご意見としてお伺いしておく。今の体育室の構想以外は、意見提案者(2人目)の主張は毎回お聞きしている。先日のなぎさ荘の意見交換会でも、意見提案者(2人目)の主張に関し、担当課から説明をしてきている。ゼロ回答との認識かもしれないが、これまでの考え方は、質問に対してそれぞれの部局から回答している。決して無計画で進めてきたわけではなく、最初に説明したとおり、こうした機会を繰り返し行いながら、地域の方と話し合い、また議会の方にも都度の内容を報告して了解を得ながら進めてきている。

意見提案者(2人目)は、なぎさ荘がなくなると多くの人が死んでしまうと主張されるが、この市民センター周辺の先ほど説明した約3,500人の方々については本当に避難する場所もない。そうした意味で、今の想定(鵠沼海岸2丁目、及び鵠沼海岸中央町内会の居住者の約半数が避難されるという想定)の1,750人を収容できる施設は無い。市民の皆さんの意向に沿って、こうした計画が出来ており、必要な手続きを踏んで市々も進めてきている。この点についてはご理解いただきたい。

これまで意見提案者(2人目)は、なぎさ荘の移転については明確に反対すると言われた。これまでの意見交換会を計13回実施してきたなかで、この市民センター建て替え自体に反対という意見は無かった。市民センター建て替え反対という主張は意見提案者(2人目)だけである。なぎさ荘については、陳情があつたことももちろん承知している。

(意見・質問(3人目))

周辺の方々は建て替えということは知っていても、どういう使い方となるのか、ということは知らない。宣伝が足りない。いつできるのかも知らない。駅に近い人は別にして、ここまで来る人も大変である。

(回答 鵠沼市民センター)

意見提案者(2人目)の市民センター建て替え反対という主張は、意見交換会であるので受け止めさせていただく。

(意見・質問(2人目))

議事録に残してほしい。

(回答 鵠沼市民センター)

もちろん、議事録に残す。

(意見・質問(4人目))

新しいセンターにシャワー室の設置予定はあるか。体育室利用者が希望するのではないか。また、災害発生時に避難された方が風呂に入りたいと希望するかもしれない。また、建物緑化については屋上庭園のように植物を植える計画はあるのか。

(回答 鵠沼市民センター)

シャワーについては体育室を作るため検討はしたが、今のところ設置の予定は無い。緑化については、屋上としなくとも、緑化条例における敷地の20%の緑地の確保はできる見込みである。屋上緑化は始めうちは良いが、どうしても綺麗に維持するのが困難なことから、地面の方でしっかりと確保し、屋上はできる限りやらない方向で検討を進めている。

(意見・質問(4人目))

現在、屋外に建てているプレハブの倉庫は、建物内の倉庫に置き換わるということで良いか。

(回答 鵠沼市民センター)

図面上、右上のところに示されている収納スペースが外部からも倉庫という形で使用できる。ここに集約することで緑化のスペース確保にもつながる。

(意見・質問(4人目))

東屋の門柱はどこかに残してほしいが如何か。

(回答 鵠沼市民センター)

市の郷土歴史課と既に調整に入っており、東屋の門柱に関しては、移設場所は未定であるが、この再整備のなかで、敷地内に移設をする予定としている。

(意見・質問(3人目再質問))

太陽光パネルについては、異なる自然エネルギーの活用法が出てきているので、新しいセンターには設置しないでほしい。後々いろいろな悪いものも出たりもしている。日本政府は発表しないだけであり、そのあたりをよく勉強してほしい。コンクリート、セメント、鉄材料にしても安くて丈夫なものがどんどんできている。

また、なぎさ荘利用の高齢者について。高齢化社会を迎え、出生率はまだまだ低く、一番人数が多いのが我々の世代である。1人で自分の部屋にいる高齢者をいかにコミュニティの場まで連れ出し、楽しんでもらうかが大事だ。鵠沼海岸あたりにお住まいの高齢者からは、バスが減便となるなど移動が大変だという声を聞く。送迎の車が定期的に巡回するなら良いと思う。

なお、料理用の部屋は無くなってしまうのか。皆で一緒に料理をするのは頭を使うので、そうした場があると良い。

(意見・質問(2人目再質問))

なぎさ荘は(機能集約により)風呂も無くなる。

(意見・質問(3人目再質問))

なぎさ荘は(機能集約により)プールもなくなるという。同時に楽しめるコミュニティが望ましい。若い世代は仕事もあり、どうしても子どもに注意を向けるため、高齢者は若い世代と一緒に住むことがない。そうした高齢者が友達もなく認知症になっていくので、できる限り地域コミュニティに連れ出したい。

その点を考えた日本初の公民館・センターとして一番進んだものにしてほしい。これらのことを行っておいてほしい。

(回答 鵠沼市民センター)

今いただいたご意見は、もちろん専門設計事務所が入っているので、検討し、進めていきたい。また、コミュニティの場を活かす時代との指摘があったが、まさにそういう施設を目指している。なぎさ荘、子ども

の家、図書室など、あらゆる世代の方が来所し、いろいろな交流が生まれ、連携ができる施設にしたいとの思いで、検討している。今後もいろいろな助言をいただきたい。

(意見・質問(5人目))

新しいセンターの1階のフロアの絵を見て、こうしたものができたら素晴らしいという期待を光と例えるならば、一方で現在のなぎさ荘がどうなるのかという懸念が、影の部分だと考える。市の公共資産活用等検討委員会において、なぎさ荘の建物についてこれから検討していくとのことなので、これが光となるか影となるのかわからないが、この委員会の結論は、いつごろ出るのか。なぎさ荘の将来の構想はいつごろ決まるのか。

(回答 企画政策課)

なぎさ荘の今後については、まだ決まっていない。新しいセンターの完成まで、まだ7年あり、7年先を見据えて、どうするかを今すぐ決めるのはなかなか難しい。7年の間に市民のニーズ、地域課題、行政課題というものが変わっていく。その中で決めていきたい。

(意見・質問(5人目))

今回の新しい鵠沼市民センターは各世代向けの施設を融合させるので、なぎさ荘を持っていくとのことであるが、コンセプトを本当に生かすのであれば、若者からお年寄りまで全世代が使えるようなスペースを作れば良い。スペースが狭いところになぎさ荘を移転させるが、本当に良い機会となるのか疑問を持っている。現なぎさ荘の建物は潰してしまうことを前提に公共資産活用等検討委員会が進んでいるのではないかと考えてしまう。なぎさ荘が潰れてしまったら、後は避難ビルしかない。カムチャツカの地震による津波警報発令の時、避難ビルに行つたものの入れなかつたという人がいたということ、雨や炎天下の中、本当に避難ができるのかといった不安を払しょくしなくてはいけないということを、同じ町内会の役員の方とも話をする。そうした影の部分が、今回の市民センター建て替えプランの中にはあると考えており、こうしたことをいろいろな形で検討してほしい。片やこうした立派な市民センターができる、片や現なぎさ荘が無くなってしまったどうなのか、このままでは地域の分断に繋がってしまうことを心配している。全ての世代に向けた施設として期待はしているが、鵠沼海岸5丁目の地区が陰になるようでは、この計画のコンセプトが守られていないのではないかと思った。

(回答 鵠沼市民センター)

先ほど、企画政策課からお答えしたとおり、なぎさ荘が将来的にどうなるかは決定していない。早く決

また方がわかりやすいというのはそのとおりだが、7年先の状況も踏まえて、タイミングを見計らって、公共資産活用検討委員会というルールの中で動いていくことになる。

自身は、鵠沼のセンター長であり、鵠沼地区にとって悪くなるようなことをやろうなどとは当然思わない。なぎさ荘は潰す前提でいるわけではない。分断との指摘があったが、我々が目指している施設は、さまざまな方が集える施設であり、その中で新しいなぎさ荘の可能性も出てくるのではないかと考えている。

(意見・質問(2人目再質問))

その根拠は何か。

(回答 鵠沼市民センター)

根拠は無い。そういったものを目指しているということ。

(意見・質問(2人目再質問))

根拠があることを言ってほしい。

(回答 鵠沼市民センター)

では、分断とは何を根拠に主張しているのか。

(意見・質問(2人目再質問))

なぎさ荘が無くなるのだから、5丁目にとっては分断である。

(回答 鵠沼市民センター)

現なぎさ荘がどうなるかは、現段階でわからないと言っている。

(意見・質問(2人目再質問))

看護師がいなくなれば高齢者は死ぬ。

(回答 鵠沼市民センター)

市は防災の面で役割を担っている。話が平行線になっている。まずは津波の浸水エリア外に逃げるが第1である。スズキヤを目指して避難するというのが、町内会の考え方ではないですか、と言っている。各避難場所は町内会が決めている。スズキヤを目指すのが良くないと主張されるが、お住いの町内会の防災担当の方々が真剣に考えてそういう計画をたてている。

(意見・質問(2人目再質問))

(チラシは)最終的に市が出している。

(回答 鵠沼市民センター)

各町内会が津波避難計画を立て、それに基づき避難訓練で避難場所を目指しましょうとしている

(司会)

発言されるときには挙手をお願いしたいと先ほどお伝えしたとおり。よろしくお願いしたい。

(意見・質問(2人目再質問))

市の責任でチラシを出している。それをしてるのは市だけである。

(回答 鵠沼市民センター)

チラシに書いてあるのはそうであってもその前に津波避難計画を各町内会で作っている。

(意見・質問(2人目再質問))

そのようなものは、自分たちにはわからない。

(回答 鵠沼市民センター)

日頃から周知しているものである。

(司会)

時間も限られているため、ここで一度、別の方にご意見・ご質問をいただきたい。

(意見・質問(6人目))

自身は、第1期工事において工事ヤードとして使用する箇所(現在の駐車場)を借りている。2027年の3月には、駐車場は閉鎖されるという理解でよいか。

(回答 鵠沼市民センター)

2027年の3月末に駐車場は閉鎖になる。代替の駐車場はご自身で探していただくこととなる。できる限り早く、駐車場管理の不動産業者の方から契約者に連絡をしてもらえるよう今調整をしている。

(意見・質問(6人目))

先ほどの基本設計の説明を聞いて、世代間交流が行われる立派な施設だと思ったが、高齢者を中心に据えて考えているように感じられた。地域包括センターもおそらくは高齢者だけを対象にしているのではないかと捉えているが、障がいの方の相談センターといった機能は新しいセンターには入ってこないのか。

(回答 鵠沼市民センター)

現在、市内4か所に障がい者支援センターを配置しており、辻堂市民センターにある障がい者支援センターが、鵠沼エリアも内包する形での管轄区域としている。

(回答 高齢者支援課)

地域包括支援センターは高齢者だけに限定しているわけではなく、お子さん、青少年から高齢者まで、課題のある方からのご相談を受け、それぞれの専門性がある箇所へ繋ぐ役割を担っている。ご相談の入口として活用いただきたい。

(意見・質問(3人目再質問))

新しい市民センターには高木ふれあい荘は入らない。高木ふれあい荘には高齢者が集まっている。高齢者が新しいセンターにどのようなものを望んでいるのか。この意見交換会の出席状況はどうか。

(回答 鶴沼市民センター)

一昨日(11月11日(火))は、20名程度の参加。高齢者も参加された。

(意見・質問(3人目再質問))

完成まで7年ある。高齢者は、なぎさ荘をこのセンターに移設することまでわかつていないかもしれない。若い世代とも交流できるコミュニティは大事である。意見交換会などは、高齢者に集まつていただきやすい形にするべき。

(回答 鶴沼市民センター)

意見交換会には、より多くの方に来ていただきたいが、1回で20人、多くて50人ぐらいの方の参加。来ていただくのは、なかなか難しい。ホームページ、回覧などで、実施の周知をしているが、普段から興味がない方にとっては、情報が伝わりづらい。できる限り、こういう場を設けていきたい。また、高木ふれあい荘は寄付によっていただいた場所。地域の方が大切に思い、自分たちで庭の手入れなどの管理しながら使っている。江南市民の家の整備も含めて、センターの建て替えとは別の形で考えるといった整理になった。

なぎさ荘については、将来的になぎさ荘の機能を鶴沼地区に残すためにも、ここに機能移転するのが一番良いと考えられたもの。そうした点をご理解いただきたい。

(意見・質問(1人目再質問))

今後のスケジュールについて、2029年に新しいセンター棟がオープン、2033年度に体育室棟がオープンとなっている。順当に工事が進めばよいが、遅れて後ろにずれ込むことはあるか。

(回答 鶴沼市民センター)

後ろにずれ込む可能性もゼロではないし、逆に前倒しできる可能性もある。工事は周辺への影響もあるので、長期間とならないよう、できる限り工期を短くする検討をしている。

(意見・質問(1人目再質問))

できる限り前倒しで進めてほしい。とても楽しみで皆がわくわくしている。子供たちがキラキラ輝くような、綺麗な施設ができればと思っている。頑張ってほしい。

(意見・質問(2人目再質問))

この再整備にいくらかかるのか。

(回答 鶴沼市民センター)

金額に関しては、前回の基本構想と想定は変わらず、47億円となる。

(意見・質問(2人目再質問))

なぎさ荘の上に体育室を作るが、体育室の床面は地面から何メートルか。

(回答 鶴沼市民センター)

4mである。

(意見・質問(2人目再質問))

現在より10センチくらい低いが大丈夫なのか。(基準水位が3.4mであれば)今の方が良いのではないか。

(回答 鶴沼市民センター)

この市民センターとしての機能不足、老朽化がある。新館はプレハブなので、津波のときに避難できるのは本館しかない。本館の2階に入れるのは700人から800人くらい。避難の想定の人数を収容できない。

(意見・質問(2人目再質問))

避難の想定人数は。

(回答 鵠沼市民センター)

先ほど説明したとおり1,750人

(意見・質問(2人目再質問))

今度新しくなると何人収容できるのか。

(回答 鵠沼市民センター)

屋上だけで2,000人。室内の居室、2階と3階を合わせると、さらにプラス2,000人、合計4,000人程度。

(意見・質問(2人目再質問))

屋上は補強すれば良いのではないか。

(回答 鵠沼市民センター)

技術的な補強が可能かどうかはわからない。

(意見・質問(2人目再質問))

7年間完成するまでずっとリスクがあるのなら、補強して皆を救うことを考えたらどうか。

(回答 鵠沼市民センター)

7年間ではなく津波の避難の施設ができるのは今の予定で4年後である。

(意見・質問(2人目再質問))

4年だとしても、1,000万円か2,000万円あれば補強できるのではないか。

(回答 鶴沼市民センター)

ここは津波の避難をしていただく施設ではない。津波の避難エリア外に出てくださいというお願いをしている。

(意見・質問(2人目再質問))

それは本末転倒だと思う。あまり言っても仕方がない。